

令和2年度 第2回 富谷市総合計画審議会 会議録

日 時：2020年8月6日（木） 14時00分～15時00分

場 所：富谷市役所3階305会議室

参加者：富谷市総合計画審議会 出席委員12名

：富谷市 4名

：事務局 3名

1 開会（司会：企画部長）

2 市長挨拶（若生市長）

本日はお忙しい中、令和2年度第2回富谷市総合計画審議会へご出席いただき、ありがとうございます。また日頃よりそれぞれの立場から当市にご指導・ご支援・ご協力いただき感謝申し上げます。今回の審議会は、第2回となっておりますが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、第1回開催が書面開催となっておりますので、実質本日が今年度最初の顔合わせになりますので、どうぞよろしく願いいたします。また、本審議会の委員につきまして、承諾いただき、ありがとうございます。委嘱状の交付については、新型コロナウイルス感染症を考慮して、机上に置かせていただきましたので、ご理解のほどよろしく願いいたします。

本審議会の会長は、これまで草間先生に務めていただいておりますが、諸般の事情で委員を継続することが難しいとのことで、ご本人から辞退の話をいただきました。この度改めて宮城大学副学長である風見先生にご就任いただきました。風見先生におかれましては、現在宮城大学副学長のほか、「ガイア都市創造塾」の塾長を務めるなど、幅広くご活躍されております。今般では、森の学校（東松島市宮野森小学校）の建設が日本不動産学会などで高く評価されています。また、ロンドンへの留学を通して、田園都市構想も研究をしており、国際的な知見を持たれております。この度は、本審議会の会長として、ご指導いただきますようお願い申し上げます。

本市の総合計画につきましては、市制施行となる平成28年度から令和7年度までの10年計画でございます。令和2年度で前期基本計画が終期を迎えるということで、令和3年度からの後期基本計画に向けて、現在行っているアンケート調査にて前期基本計画の市民の皆様の意見を集計しつつ、今後のまちづくりについて皆様方にはご審議いただければと思っております。

本日は、限られた時間ではございますが、皆様方の忌憚のないご意見を賜りますようお願い申し上げます。

3 会長挨拶（風見先生）

私自身は、2008年から宮城大学におり、地域を元気にするビジネス（コミュニティビジネス）を専門としております。富谷市との出会いは、スイーツ関連プロジェクトの時でございましたが、それから図書館の検討会議や富谷塾で交流させていただいており、富谷市民の方々の熱い情熱が感じられ、富谷市は素晴らしいなと思っております。私自身、ずっと都市づくりに携わってきましたが、やはり地域の力がないと、まちづくりが続きません。その点、富谷市は富谷塾のみなさんは活発ですし、地元の方々がはちみつづくり等に力を入れられていたり、とても期待できるまちだと思います。

総合計画は市の最上位計画となり、その審議会の会長を賜うことは光栄に思っております。近隣自治体でも総合計画の策定やまちづくりに携わってきましたが、市民の方々の力があって総合計画は実現します。本計画は10年間ですが、まちづくりとなると100年間かそれ以上になります。その意味では、我々の決断で将来の富谷が決まるといふ、重要な役割となっています。

本日は暑い中、また新型コロナウイルス感染症の中で大変な中ですので、長くならないようにいたしますが、この時間だけではなく、持ち帰ってからもいろいろな形で議論していければと思っております。皆さんと共に、よき富谷を作るため頑張っていきたいと思っております。

（会長職務代理者の指定について）

会長の指定により、職務代理者に佐々木秀之委員が就く。

※ここで、各委員が自己紹介後、会長が議長となり議事を進行。

（2）富谷市地方創生総合戦略の令和元年度の取組内容の評価・検証について

（風見会長）

それでは、議事の(1)富谷市地方創生総合戦略の令和元年度の取組内容の評価・検証について、事務局から説明をお願いしたいと思います。

（事務局）

富谷市の地方創生総合戦略につきましては、平成27年12月に当時に「富谷町地方総合戦略」を策定し、それぞれの施策について取り組んでまいりました。総合戦略の進行につきましては、数値目標や重要業績評価指標（KPI）を制定し、これを用いて達成度や事業の進捗状況を適宜、評価・検証を行うこととし、評価・検証にあたっては、富谷市総合計画審議会で行うこととしております。このことから、今回、総合計画審議会でのこれまでの取組状況について、ご説明をし、ご意見を賜うものでございます。

（資料1「富谷市地方創生総合戦略数値目標及びKPIの実績について」により進捗の報告）

全体として、数値目標については6項目の内、5項目において目標を達成し、KPIにつきましては、全13項目中10項目において目標を達成していることから、市としても概ね成果を上げていると捉えているところです。

次に、地方創生交付金充当事業のKPIの実績について、ご説明をいたします。

(資料2「地方創生交付金充当事業のKPIの実績について」により進捗の報告)

以上、国の地方創生交付金を活用した4つの事業についてご説明をいたしましたが、今後も国の交付金を最大限活用しながら、地方創生として富谷市のまちづくり、そして魅力の創出に取り組んでまいりたいと考えております。

(風見会長)

ありがとうございました。多岐にわたる項目についてご説明いただきましたが、好成績なのではないかと思えます。委員の皆様から、ご意見・ご質問はございますか？

(意見なし)

それでは引き続き、議事の(2)富谷市総合計画・後期基本計画の策定について、事務局から説明をお願いします。

(事務局)

後期基本計画の策定及びスケジュール、まちづくりアンケートについて、一括でご説明いたします。

(資料3「富谷市総合計画の概要について」、資料4「富谷市総合計画・前期基本計画の数値目標について(未定稿)」、資料5「富谷市総合計画・後期基本計画策定スケジュール」、参考「まちづくりアンケートサンプル」、参考「富谷市総合計画・前期基本計画」により進捗の報告)

「富谷市総合計画・前期基本計画の数値目標について」は、おおむね順調に進んでいると考えております。今後のスケジュールは、今年は2本の計画を策定しながら、後期基本計画の中に総合戦略をうまく取り込んでいければと考えております。現在、アンケート調査を行っており、間もなく回収が終わります。後期基本計画に向けても、前期基本計画をベースに各課の意見を徴収しながら、取りまとめを行いまして、10月の下旬頃に次回の総計審を開きまして、その中で素案のような形でお示しできればと考えております。その際には、事前に資料を送付させていただきまして、皆さんが意見を出しやすいような形を取りたいと思えます。同時進行で、総合戦略も策定していきますので、タイトなスケジュールになっていきますが、ご協力をお願いします。

(風見会長)

ありがとうございました。

新型コロナウイルス感染症対策ということで、短時間での開催となっているため、十分な議論はできませんが、夏休みの宿題ということで、皆さん持ち帰ってお考えいただき、後日メールや電話等で事務局へ提出いただければと思います。

委員の皆様から、何かご質問等ございますか？

(平岡委員)

待機児童ゼロの実現ということで、素晴らしいことだと思いますが、市長さんは現場にいらしたことはございますか？現場では、仙台市のほうが時給が高いため、勤務先を仙台市に移してしまう方が多いみたいです。せっかく富谷で働いていただいたので、続けて富谷で働いていただけるよう、時給アップではなく、障がいのお子さんを保育できる環境を改善してみるというのはいかがでしょうか？

(若生市長)

待機児童問題については、就任以来特に力を入れてきた分野でございまして、就任した際は79名の待機児童がおりました。その後、保育園やこども園、小規模保育室の新設をはじめ、平岡会長がおっしゃったような保育士さんの環境改善も実際に現場をみて事業者と協議を行ってきた結果、平成30年4月1日と令和2年4月1日に何とか待機児童ゼロを達成することができました。

しかし、やはり加配が必要なお子さんがいる場合、保育の負担が全体にかかっているということでしたので、今後も保育士さんが富谷市で続けて働いていけるように処遇改善等の最大限の努力を行っていきたいと考えております。

(風見会長)

ありがとうございました。富谷市には引き続き、富谷市らしい施策ができるよう努力していただきたいと思います。

(草野委員)

子育て世帯が減少しているという説明がございましたが、私自身成田に住んでいますけども、人口減少がおきています。成田の団地開設当時は9,500人くらいおりましたが、今は9,300人くらいに減少しております。日本全国どこも人口減少傾向ですので、仕方ない面もありますが、高齢化社会を迎えるにあたって、これからのまちづくりは今の時点と将来の時点をにらんでいかないと、住みよいまちが住みにくいまちになるのではないかと感じられます。

(風見会長)

ありがとうございました。富谷も発展しているようにみえますが、同時にミクロな問題も多々あると思いますので、そのあたりを本日出た意見をもとにまとめていただければと思います。

大変恐縮ですが、時間が迫っておりますので、本審議会後、前期の計画をしっかりと読んでいただいて、課題と感ずることと伸ばしていきたいと感ずることの2点についてご意見あれば事務局へ連絡ください。次回、皆さんから出た意見をもとに議論していきたい

いと考えておりますので、事務局には取りまとめについてお願いします。

本日は、コロナ禍において、マスク越しではありますが対面で集まったことに大変感謝しております。今後、新型コロナウイルス感染症が収束して、マスク無しで集まれることを期待したいと思います。短い時間でしたが、ありがとうございました。

(若生市長)

最後に一言だけ。総合計画は10年間であり、通常ですと、今回は後期に向けての小規模な見直しとなりますが、昨今の新型コロナウイルス感染症の影響もございますので、今回の後期基本計画は新しい生活様式・行政運営など、大きな見直しが必要だと考えておりますので、皆様の忌憚のないご意見をいただければと思います。

(風見会長)

ありがとうございます。まさに、市長のおっしゃったとおり、コロナ禍において総合計画を見直すということは大変貴重な機会でございますので、委員の皆さまにはこちらの点についてもご意見をいただければと思います。

それでは、議事を事務局へお返しします。

(事務局)

風見会長、ありがとうございました。

最後に、西村副市長より閉会のあいさつを申し上げます。

(副市長)

皆さま、大変お忙しい中、ありがとうございました。本日は、委員の皆様に、事務局から状況をご説明させていただく形となりました。会長から話がありましたが、これから後期基本計画を作っていくわけですが、まずは前期計画を見ていただいて、ご意見を事務局までご提出いただければと思います。その意見をもとに、議論を深めていって、10月には概略という形でお示しできればと思っておりますので、引き続き、ご協力いただきますようお願い申し上げます。本日はありがとうございました。

以上